

うえだ オレンジベスト 見守り 情報

--- 上田市少年育成センター 通信 ---

上田市教育委員会生涯学習・文化財課 上田市 大手 1-11-16 上田市役所南庁舎 電話:23-6375 FAX:23-6368 令和6年7月10日 R6-2号



駅前啓発活動



学校が夏季休業に入る7月を「青少年の非行・被害防止全国強調月間」として、青少年の健全育成について一層の充実と定着を図る取り組みが全国で一斉に行われます。一昨年、成年年齢が18歳に引き下げられ、18歳及び19歳の少年について特例を定めた改正少年法が施行されています。

少年育成センターでは、上田地域振興局総務管理課・上田駅を利用する高校生・駅前交番・上田市少年補導委員会と連携し、7月1日(月)夕刻、県の実施要綱に基づい

自分を大切にしましょう

・少年の喫煙・飲酒・薬物乱用・暴力行為等は禁じられています
・あなたのことを見守っている人がいます

上田市少年育成センター
(上田市少年補導委員会)
電話 23-6370

て、上田駅前にて啓発活動を実施しました。

「オレンジベスト見守り隊」の桃太郎旗のもと、2つのメッセージ(青少年相談電話<左>・自分を大切にしましょう<右>)を添えたポケットティッシュを配布しながら、青少年の健全育成の啓発とあいさつ運動を行いました。

こんにちは！
げんきですか

困っていること、悩んでいることがあったら気軽に電話してみてください

青少年相談電話
(ハローダイヤル)
専用電話 22-8080
毎週月～金曜日(祝日を除く)
午前9:00～午後4:00
上田市少年育成センター

上田染谷丘高校のダンス同好会の皆さんには、アルクマがデザインされた「信州あいさつ運動」のたすきをかけて、笑顔のあいさつ運動に協力いただきました。

上田駅前パレオビル2階のテラスには『大人が変われば子どもも変わる 上田市・上田市教育委員会』の横断幕を1か月間掲げています。

重点課題

- ・「ネット利用に係る子どもの被害等の防止」
(ペアレンタルコントロール) <関連情報:最終頁>
- ・「健全育成へ向けた環境浄化の推進」
<環境チェック活動 関連情報:頁下>
- ・「重大ないじめ・問題行動の事前防止」
<上田市青少年相談電話 22-8080 ハ(8)口(0)ーダイヤル>



環境浄化活動(環境チェック)活動 展開中*

上田市少年補導委員が中心となり、地元自治会や青少年育成団体関係者の協力をいただきながら、事業主様から、日頃の青少年の気になる様子などのお話をうかがう活動です。

事業主・店舗の皆様におかれましては、少年補導委員をはじめ関係者が店舗を訪問した際には、御協力をいただきますようお願いいたします。

～ こんなお店を訪問します ～

映画館 酒類提供飲食店 レストラン、喫茶店等飲食店 質屋、金属くず、リサイクル店 書籍雑誌販売店
パチンコ・スロット店 ボウリング場 酒類販売小売店 たばこ小売店 ドラッグストア(医薬品小売店)
カラオケボックス ゲームセンター コンビニエンスストア マーチャン店 マンガ喫茶・ネットカフェ
成人玩具販売店 ビデオ販売・レンタル店 PC、携帯ショップ・電器店 複合施設・スーパーマーケット



少年補導委員の活動紹介

少年育成センター活動A

地域を知って 班活動へ展開しています

<5月17日(金) 上田駅周辺・しなの鉄道 巡回>

今回、3地区(丸子中央・傍陽・本原)の少年補導委員(代表)・特別補導委員・少年育成センター事務局で、上田駅周辺と列車運行の様子を視察(巡回)しました。公共性を大切に取り組みられているしなの鉄道、駅前駐輪場管理事務所にうかがい、利用状況や近況のお話ををうかがいました。

温泉口およびお城口2か所の駐輪場管理事務所の方からは「太いタイヤの自転車はラック(施設)に入らずバイク置き場に保管している。」「お城口多目的トイレに不適切な利用実態があって心配…」等のお話ををいただきました。

しなの鉄道の営業課の方からは「座り込みや喫煙は無くなったが、スマホやイヤホンの使用が増えたことで、危険や不審者に気付きにくくなっている。」「電子機器の落し物が増えている」等のお話をいただくと同時に「地方路線(鉄路)を守る使命(強い志)」についてもお話をいただきました。

その後、2班に分かれ営業課の方と一緒に、小諸-上田駅間、坂城-上田駅間の列車に乗車しました。日頃からの市民の足として公共交通の利便性・サービスの向上への取組みについても研修する機会となりました。委員の定期巡回が難しい列車内ですが、青少年を含む乗車マナーはとても良好でした。



<6月3日(月) 東塩田児童クラブ 訪問>

塩田地域の少年補導委員(代表)・特別補導委員・少年育成センター事務局が、『東塩田児童クラブ』を訪問し、安全啓発教室を開きました。子どもたちと絵やクイズで交流しながら身近な場所について楽しく学ぶ企画『防犯クイズ! どちらの場所が危ない?』の取り組みです。

訪問者(補導委員・育成センター事務局)の全員がクイズの出題と解説を行います。

塩田公民館に集合して、啓発教材の打ち合わせの後、児童クラブへ移動しました。



東塩田児童クラブは、東塩田小学校の家庭教室を共有して運営されて今年で4年目を迎えるという説明をいただきました。平均25名ほどの子どもたちが利用し、職員3名で安全やケガに注意して活動されています。

素直な子どもたちの元気な反応と鋭い気づきにより、笑顔あふれる時間を共に過ごしました。



指定管理を受け児童クラブを運営しているNPO法人ワーカーズコープからも視察に見えて、少年補導委員の活動を知っていただくことが出来ました。



旧 大屋駅舎



大屋駅は、明治26年(1893年)信越本線(開業当時は直江津線)開通(延伸全通開業)の際には在りませんでした。(「歴史でめぐる鉄道全路線 国鉄・JR」11号より) 当時、中央本線はまだ未開通(岡谷延伸は明治38年)でした。 蚕糸業で栄える諏訪・岡谷地方との物流経由地として、**田中駅**と**上田駅**の間に、明治29年(1896年)、全国初の地元住民による「**請願駅**」として**大屋駅**が開業しました。

『大屋停車場碑』(明治33年建立 現存)には、その経緯が刻まれています。



大屋と諏訪?
疑問に思われるかもしれませんが...
当時、**和田峠旧道(中山道)**を荷馬車で越え、**信越本線**を利用して**横濱**へつながる鉄路は、**糸都岡谷**を支える流通の要でした。
明治45年(1912年)に建てられた旧駅舎から(本年2月)引き継ぎを終えた新たな駅舎(写真右)は、**しなの鉄道 大屋駅**として新たな歴史を刻んでいます。

「**諏訪の湖水をみる人は 大屋を降りて和田峠**
こゆれば五里の道ぞかし 山には馬も駕籠もあり」 『鉄道唱歌』第4集24番より ♪



現 大屋駅舎 <現在の大屋停車場碑>

～ ～ 上田市の 輝く子どもたち ～ ～



「ダンスを通じた地域連携活動」 上田染谷丘高校ダンスサークル
少年補導委員会 総会・全体研修会(4月25日) ～高校生 活動発表～ から

少年補導委員会では若者を見守る取り組みの一環で、総会・全体研修会で日ごろの活動を発表していただく機会をつくっています。

今回は上田染谷丘高校のみなさんに発表をしていただきました。

前半の活動の発表(プレゼンテーション)を紹介します。



高校のダンスサークルに所属する4人が、「自分たちの好きなことを組み合わせ、様々な世代をターゲットにした、地域を元気にする活動」として『地域貢献し隊』活動を考えました。

新型コロナ対応の制限の緩和で、街に活気が戻りつつあることを肌で感じた4人は、地域との接点を模索し“まちなかキャンパスうえた”“中央公民館”に活動について相談し、「市民の森まつり」への協力や参加、「マイプロジェクトアワード」出場、「小学校ダンスレッスン」の企画・運営・・・と活動の輪を広げ、ダンスやボランティアを通じた地域連携を実践しています。



発表写真から引用

イベントを1からつくることは難しいものの、地域の方々と関わりを持つことで、活性化について一緒に考えることが出来ることを知り、ダンスで地域を元気にする活動をさらに探求しています。

壁に当たっても挫けずに素直に助けを求めることの大切さを胸に、周りから認め・褒めてもらえる達成感を感じながら、笑顔と元気で頑張っています。



発表写真から引用

後半は、総勢20名のダンスパフォーマンス... 会場は若いエネルギーに包まれ、ポップな楽曲とキレイの



ある元気な高校生のダンス発表に参加者全員元気をいただく時間になりました。

温故創新
を实践する
ダンスサークル
は、5月
同好会へ
昇格しました!



ダンス発表終了後、前峯村教育長と笑顔の記念撮影

上田市少年補導委員 名称 改正のお知らせ

令和7年(2025年)4月から

上田市 こども安全安心見守り 委員に!

令和7年度からの委員推薦を地区自治連・各学校にお願いする際には、新旧委員名を併記してご案内する予定です。

少年育成センター事務局では、各地区の補導委員の皆さんと、活動内容や組織体制の現状についてお話を伺う懇談会を順次開催します。

『オレンジベスト見守り情報』(少年育成センター通信)

『オレンジベスト見守り隊』(委員会愛称)

ともども よろしくお願ひします。



下記を参考に、各班で活動の計画をよろしくお願ひします。

| | | | |
|-----------|-------------|--------------|-------------|
| 1日 東部 A B | 6日 北部 A B | 11日 中塩田 A B | 16日 依田 長瀬 塩 |
| 2日 神川 A B | 7日 西部 A B C | 12日 西塩田 別所温 | 17日 長 傍陽 本原 |
| 3日 南部 A B | 8日 城下 A B | 13日 川辺泉田 A B | 18日 武石 |
| 4日 中央 A B | 9日 神科 A B | 14日 川西 内村 | |
| 5日 塩尻 | 10日 豊殿 東塩 | 15日 丸子中央 A B | |

毎月 第三日曜日は
「家庭の日」です

お知らせ 掲示板

7月は「青少年の非行・被害防止全国強調月間」です

7/1 (月) 街頭啓発活動【全県一斉活動】<正副会長・特別補導委員>

7/11 (木) 県青少年補導活動推進大会 小諸市<希望参加>

7/24 (水) 少年育成センター活動「サントミュージゼ・ショッピングセンター」<指定班>

信州上田祇園祭 7/20(土) 上田わっしょい 7/27(土) 両日、警察と連携して、市民まちづくり推進部(市役所職員)による「夏祭り駅前パトロール」が実施されます。



スマホ・ネットを かしこく安全 に使うために**

インターネットにつながるスマホ、ゲーム、タブレットやパソコン(PC)などの電子メディア機器が子どもたちに欠かせないツールとなり、学校では、ひとり1台の端末が教育活動に導入・活用されています。

『インターネット・ゲーム障害』という名称で、(DSM 米国精神医学会診断マニュアルで) 依存症として認知されています。

青少年の発達段階では、自己コントロールに重篤な問題が露呈するため、子どもたちが適切に電子メディア機器を利用し、かしこく安全に向き合うことへの啓発を目的に、上田市教育委員会では、**啓発リーフレット**を毎年発行しています。

未成年者のゲーム課金・不適切な写真や動画拡散・なりすまし投稿や交流・不審な人や物との接触・性被害への進行・いじめや差別・暴言投稿・自律神経への影響等々心配はつきません。

健康面では、視力低下・ゲーム・動画鑑賞による生活リズムの乱れ。

精神面では、バーチャルな世界で攻撃性が高まったり、ゲーム内では人や命を大切にしない思考傾向に陥ることなども指摘されています。

『動画鑑賞を自己管理できる子どもは、成績が高い傾向がある…』と聞くと大人はついツールの使用制限を考えてしまいます。是非、子どもたちと話す機会をつくって、ルールや約束を一緒に考え、かしこく安全にスマホ・ネットに触れていきましょう！

小中学校に配布した啓発リーフレットは、上田市のwebサイトでも閲覧・ダウンロードすることができます。国や県の参考になる情報webサイトの紹介も有りますので、これを機に子どもも大人も一緒になって、ネットや電子メディアの特性と危険について考えてみてはいかがでしょうか。



上田市教育委員会
啓発リーフレット
を掲載するサイト

